

地域の管理栄養士の役割 ~食支援の未来を築く~

ワーキンググループ

- ・すなっく(^o^)

- ・エイヨ新宿 所属

5月14日(土)

No81 ・ 武蔵野栄養専門学校・ケアエイドパール
板垣 裕

新宿食支援研究会（新食研）とは？

＊ ＊ ＊ 2009年7月発会

● 『最後まで口から 食べられる街、新宿』

活動目標

1. 介護職の食に対する意識の向上
2. 食支援職種のネットワークづくりと
知識、技術の向上
3. 食支援の地域での向上

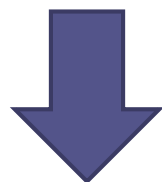
～ *MTK & H* ～

・ 見つける人 (M) ・ つなぐ人 (T) ・ 結果を出す人 (K)

栄養士地域連携グループ

「エイヨ新宿」 （代表 安田淑子）

- 新宿区内の病院、施設、在宅管理栄養士
- 栄養士活動でクライアントの生活背景を知ることとは重要。しかし、十分にそれを把握できない



- そこで、生活に基づいた栄養指導のツール作り。

エイヨ・ワーキンググループ活動



■介護食対決 3者での料理対決

- ・日時：6月5日（日）の午後 場所：ふぁみりー
- ・

- ・対象者：咀嚼困難で嚥下困難なしの男性・

「調理が苦手な男性でもできる介護食」

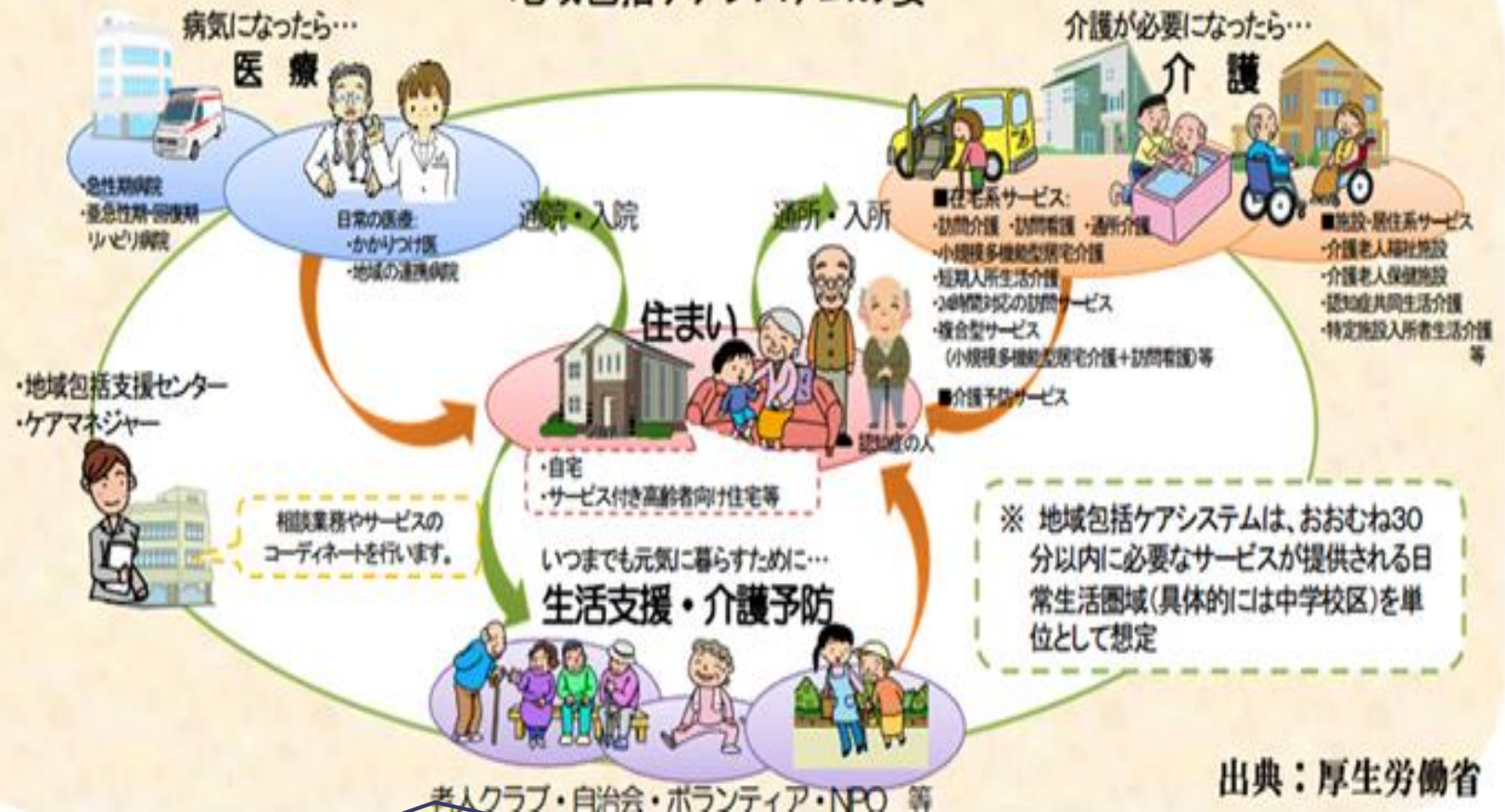
- ・予算：500円、カロリー500kcalを目安

- ・対戦者：

「エイヨ」のコンビニ活用食
vs 「ライフデリ」の宅配弁当
vs 「URUZO」の介護食品

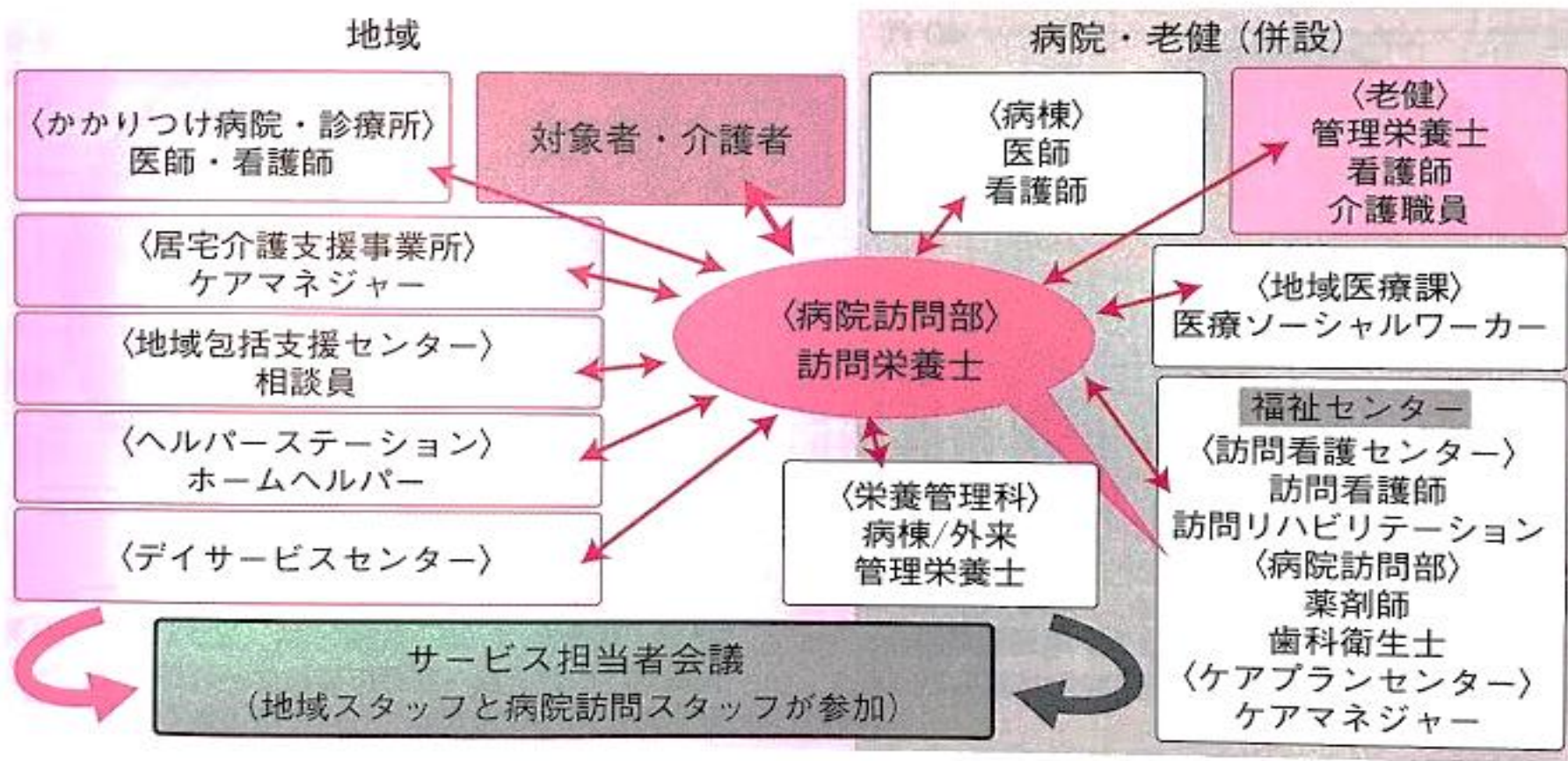


地域包括ケアシステムの姿



在宅医療・介護連携の推進

～病院と多職種連携～



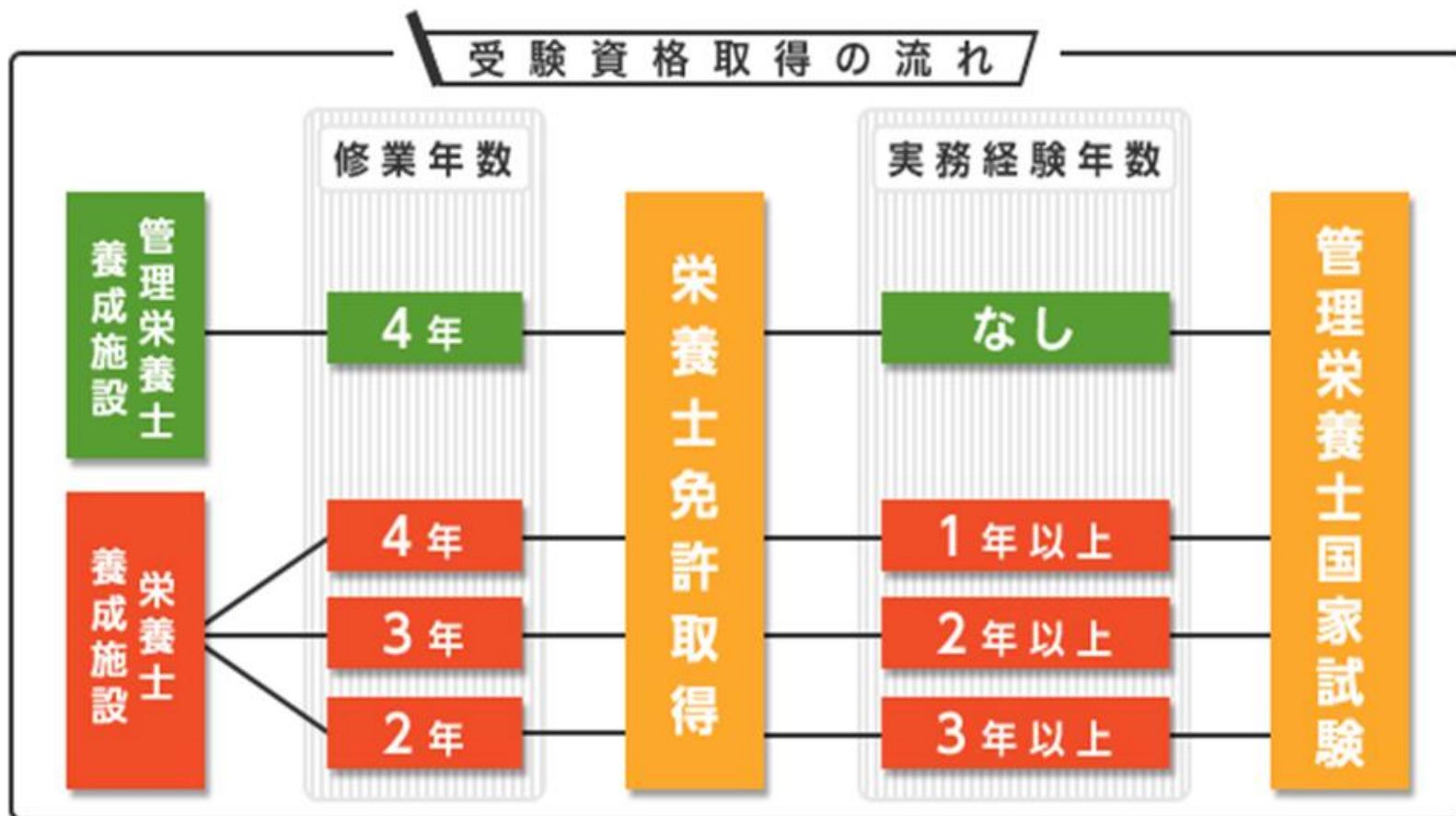
～多職種と他職種の連携を深める～

管理栄養士・栄養士とは？

- 栄養士・・・養成施設（学校）卒業で取得
都道府県知事の免許、栄養士の名称
- 管理栄養士・・・厚生労働大臣免許(国家資格)
 - ・ 傷病者のため必要な栄養指導
 - ・ 健康の保持増進のための栄養指導
 - ・ 特定多数人に食事を供給する施設
 - ・ 保健所、栄養士養成施設の教員など

⇒要件で保険診療報酬が支払われる。

管理栄養士の受験資格取得には、2つのルート



嚥下について（語源）

- 嚥下（えんげ）は、モノを飲み込み、胃に送ること。

＊ ＊ 中国でツバメの子が餌を丸呑みにする様子。 ＊ ＊
口へんに燕（つばめ）で「飲み込む」という意味。

原因・・・病気や老化などで、モノが飲み込みにくい状態。

飲み込めるが、肺へ入ってしまう。

⇒これを摂食・嚥下障害



摂食・嚥下障害の原因とは？

- ・高齢者においては・・・

- 歯が弱り、噛む力が低下
- 唾液の量が減る
- あごやほお、のどなどの筋力の低下
- 粘膜の知覚や味覚の低下
- 注意力や集中力の低下
- 脳卒中や認知症による障害 など。

- ・神経疾患などで、神経の経路が傷つき、口や舌、のどの動きが障害。

嚥下障害における栄養士の関与

- 老嚥
- 加齢
- 滑舌の低下
- 食べこぼし
- わずかなむせ

オーラル・フレイル

疾病

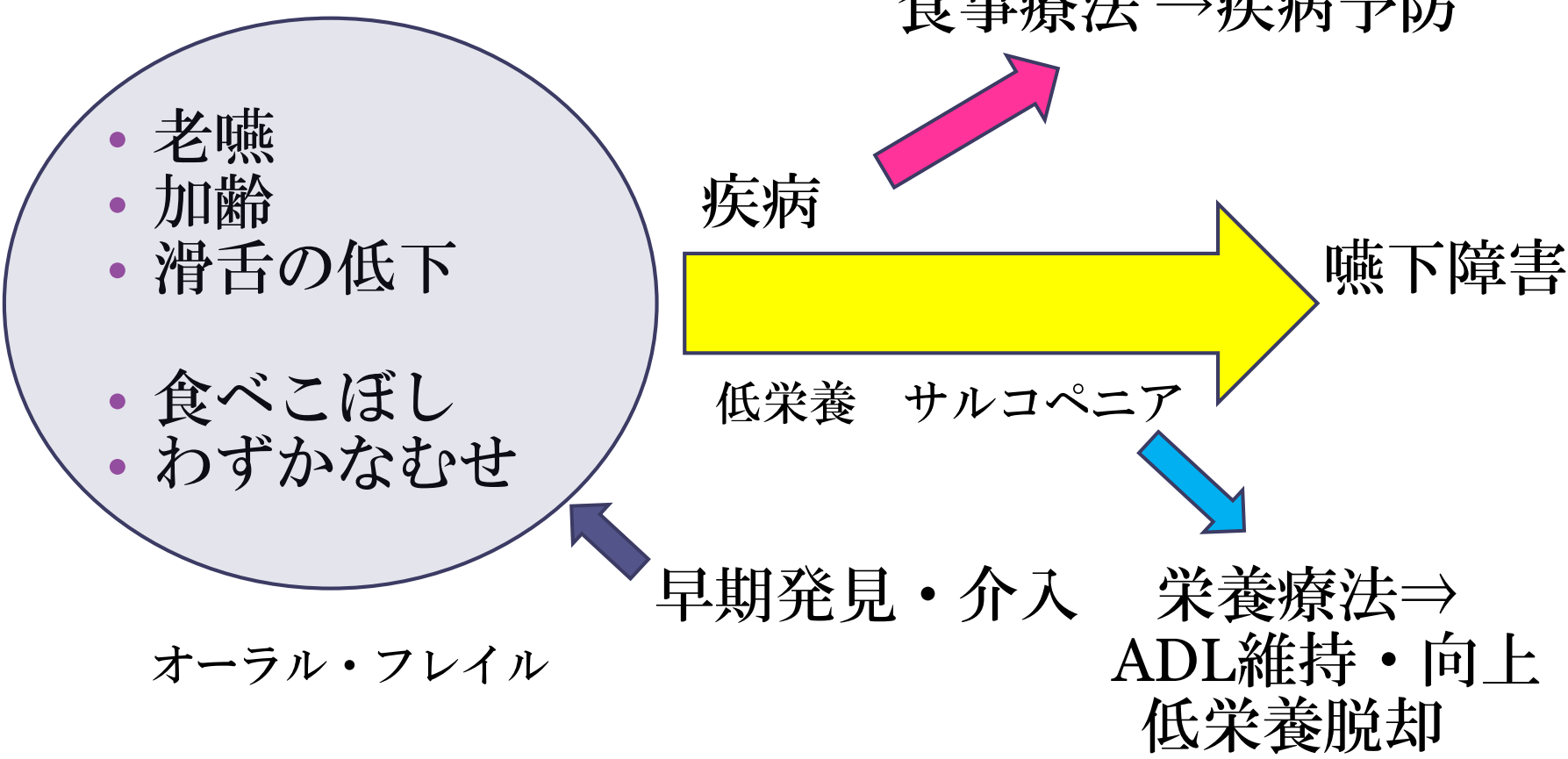
食事療法 → 疾病予防

嚥下障害

低栄養 サルコペニア

早期発見・介入

栄養療法 ⇒
ADL維持・向上
低栄養脱却



簡易栄養状態評価表

Mini Nutritional Assessment-Short Form

MNA®

氏名:

性別: 年齢: 体重: kg 身長: cm 調査日:

下の□欄に適切な数値を記入し、それらを加算してスクリーニング値を算出する。

スクリーニング

A 過去3ヶ月間で食欲不振、消化器系の問題、そしゃく・嚥下困難などで食事が減少しましたか？

- 0 = 著しい食事量の減少
1 = 中等度の食事量の減少
2 = 食事量の減少なし

☐

B 過去3ヶ月間で体重の減少がありましたか？

- 0 = 3 kg 以上の減少
1 = わからない
2 = 1~3 kg の減少
3 = 体重減少なし

☐

C 自力で歩けますか？

- 0 = 寝たきりまたは車椅子を常時使用
1 = ベッドや車椅子を離れられるが、歩いて外出はできない
2 = 自由に歩いて外出できる

☐

D 過去3ヶ月間で精神的ストレスや急性疾患を経験しましたか？

- 0 = はい 2 = いいえ

☐

E 神経・精神的問題の有無

- 0 = 強度認知症またはうつ状態
1 = 中程度の認知症
2 = 精神的問題なし

☐

F1 BMI (kg/m²): 体重(kg)÷身長(m)²

- 0 = BMI が 19 未満
1 = BMI が 19 以上、21 未満
2 = BMI が 21 以上、23 未満
3 = BMI が 23 以上

☐

BMI が測定できない方は、F1の代わりにF2に回答してください。
BMI が測定できる方は、F1のみに回答し、F2には記入しないでください。

F2 ふくらはぎの周囲長(cm): CC

- 0 = 31cm未満
3 = 31cm以上

☐

スクリーニング値

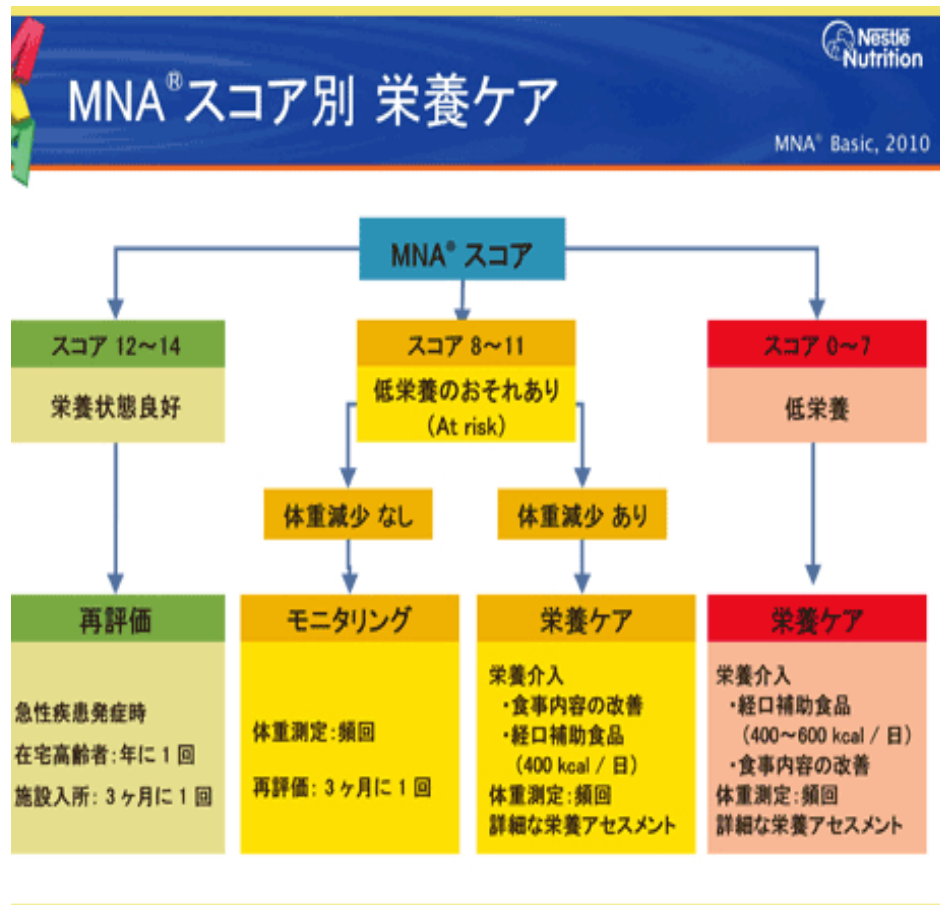
(最大: 14ポイント)

☐

12-14 ポイント: 栄養状態良好

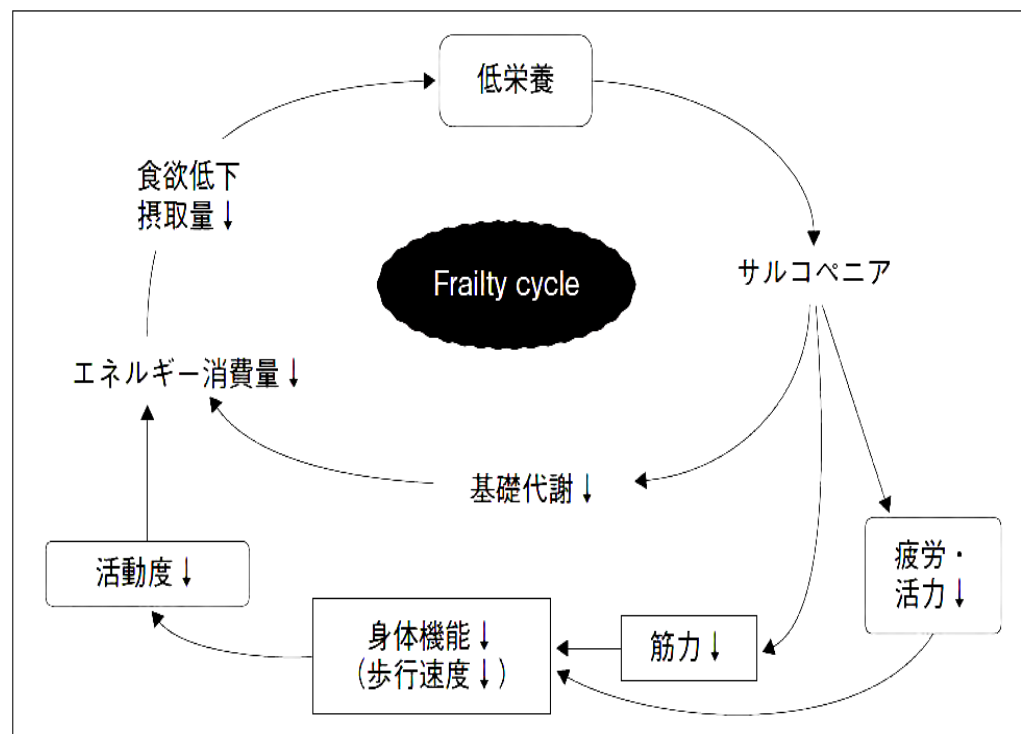
8-11 ポイント: 低栄養のおそれあり (At risk)

0-7 ポイント: 低栄養



●低栄養による障害

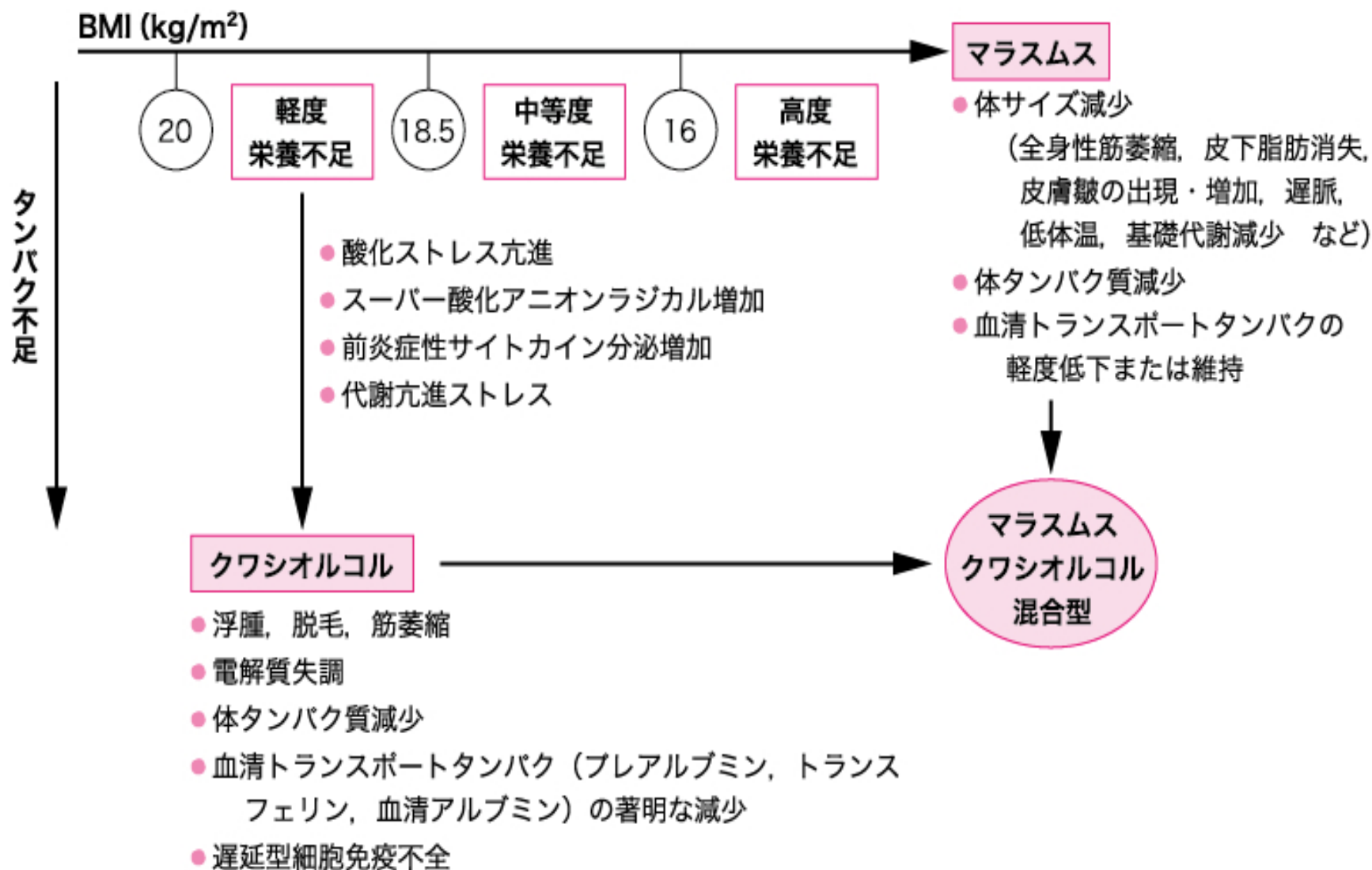
- 免疫力や抵抗力低下
- 気力低下
- 脱水症状
- 骨量が低下
- 筋肉や筋力が低下
- 認知機能が低下
- 生活自立度が低下
- 傷や褥瘡が治療遅延
- お腹がむくむ。など



●低栄養の原因とは？

- ・消化機能の低下 ・味覚低下／感覚低下
- ・咀嚼力や嚥下力低下／
- ・むし歯、入れ歯の不具合、歯の欠損





高齢者と低栄養のポイントは？

- ▣ 「低栄養」は認知機能が低下リスクが高い。

●低栄養になりやすい人

- ・活動性の低い人。
- ・食品の品目数が少ない人
- ・ワンパターンの食事。

●低栄養を防ぐ食べ方

- ・肉、魚、卵、乳製品、大豆製品などタンパク質を多く含む食品。
- ・主食、主菜、副菜を、バランスよく。
- ・食べきれないときは、おかずを先に食べる。ごはんで量を調整
- ・多くの量を食べられないときは、3食プラスのおやつで補う。
- ・口腔ケアや噛む力の維持が重要。

嚥下訓練、嚥下食とは？

摂食嚥下障害を示唆する何らかの問題：

覚醒不良、口からのこぼれ、口腔内残留、咽頭残留感、むせなど

- * **嚥下訓練** : 専門家また介護者が、嚥下機能を改善のために行う訓練
- * **嚥下食** : ゼラチン寄せ、ミキサー食など、食塊形成しやすく嚥下しやすいように調整した食品
- * **代替栄養** : 経管栄養、点滴など非経口の栄養法
- * **特別食べにくいもの** : パサつくもの、堅いもの、水など



経口維持加算の見直し

低栄養の改善

経口維持加算の見直し

- 現行のスクリーニング手法別の評価区分を廃止し、多職種による食事の観察(ミールラウンド)やカンファレンス等の取組のプロセス及び咀嚼能力等の口腔機能を踏まえた経口維持のための支援を評価。

経口維持加算(Ⅰ):28単位/日

又は

経口維持加算(Ⅱ): 5単位/日

再編・充実

経口維持加算(Ⅰ):400単位/月

経口維持加算(Ⅱ):100単位/月(新設)

多職種：医師・歯科医師・歯科衛生士・管理栄養士・
看護師・PT・OT・ST・ケアマネジャー

低栄養の把握、食事と栄養

- エネルギーとたんぱく質が不足
- 体重の減少、BMI値（体格指数＝体重（kg）÷（身長（m）×身長（m）））
- 血液検査値（血清アルブミン値など）

とろみ剤の特徴とは？

■固めるための食品の特徴

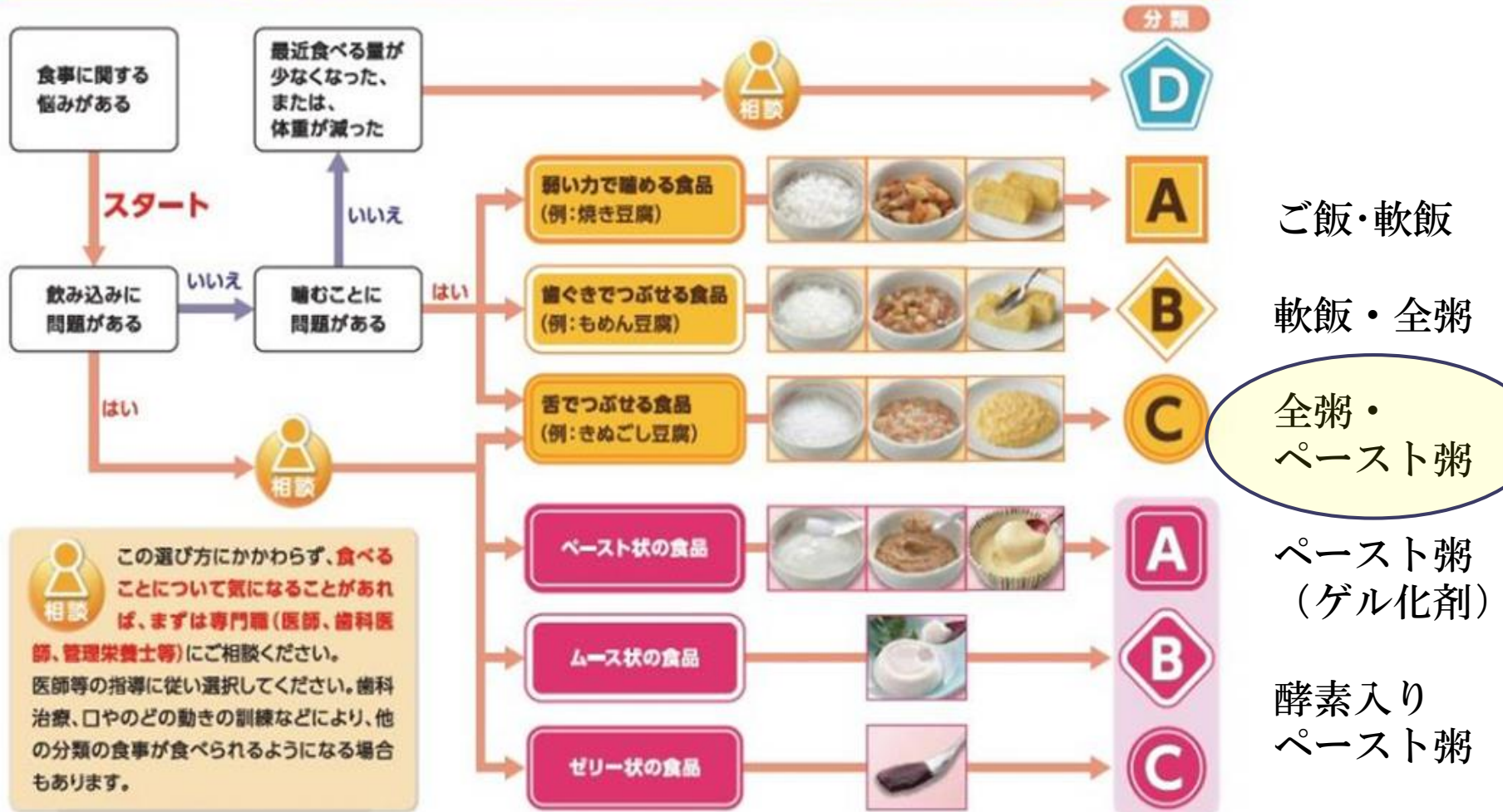
	寒天	ゼラチン	ゼリー食用調整食品
成分	植物性食物繊維	動物性たんぱく質	デキストリン、増粘多糖類、寒天など
弾性	低い	高い	高い
凝集性	低い	高い	高い
温度	常温で固まる	常温で固まらない	常温で固まる
消化酵素	影響なし	影響あり	影響なし

■主な増粘多糖類

	原料	食品への使用例
キサンタンガム	トウモロコシなどのでんぷんを発酵したもの	ドレッシングやたれ
グアーガム	マメ科の植物の種子	インスタントスープ
ジェランガム	エロデア属の水草	ゼリードリンクや和風デザート
ローカストビンガム	マメ科の植物の種子	ソースやたれ
ペクチン	かんきつ類の果皮	ジャム
グルコマンナン	サトイモ科のいわゆるこんにゃく芋の塊茎	デザートゼリー
アルギン酸ナトリウム	コンブ・ワカメ・ヒジキなどの藻類	ビール、フルーツジュース
カラギーナン	紅藻類	デザートゼリーやプリン

スマイルケア食

新しい介護食品(スマイルケア食)の選び方



2016年度・診療報酬改定とは？

- 地域包括ケアシステム推進の取組強化

- ① ・ 栄養サポートチーム加算

（院外、院内の歯科医師との連携）

歯科医師連携加算 50点

- ② ・ 外来・入院・在宅患者訪問栄養食事指導料

（対象・厚生労働大臣が特別食、がん、摂食若しくは
嚥下機能が低下した患者又は低栄養状態にある患者）

- ③ ・ 在宅患者訪問栄養食事指導料

算定要件・医師の指示に基づき、管理栄養士が患家を訪問し・・・

栄養食事箋に従い、食事の用意や摂取等に
具体的な指導 30分以上に算定

《ケアエイド・パールと他の介護事業所の違いは？

- 介護栄養士がご自宅を訪問
⇒食事栄養ケアマネジメント
- 介護食・治療食の調理や食事介助
- ユニークなサービスを提供。
介護スタッフの多くが、
栄養士(管理栄養士)保有者
- 主任介護栄養士は、ケアマネジャー、介護福祉士資格を保有
- 専門性の高いサービス・スキルの高いスタッフ



介護栄養士について



①栄養士（管理栄養士）資格

②介護の資格（ケアマネジャー、介護福祉士、社会福祉士、訪問介護員）の両方を保有。

- 『栄養と介護』の専門知識・技術がある。
- 在宅での現場経験を持つ。
- 食事栄養ケアマネジメント（食事栄養相談）、介護食・治療食の調理や食事介助、専門性を提供

かかりつけ管理栄養士とは？

- 月2回訪問
- 在宅の食生活・栄養ケアマネジメント
- 食事栄養アセスメント、調整・連携等を実施
- 介護保険の管理栄養士による居宅療養管理指導

※介護保険の1～2割の利用者負担

※介護保険の支給限度額外

※介護者に対する指導でも利用

※医療費控除の対象

介護保険の訪問介護で、介護栄養士（訪問食事栄養ケア）依頼について

- **介護栄養士は、訪問介護員の有資格者。**

「特段の専門的配慮をもって行う調理」

「主治医による具体的な（栄養量の数値）指示」

「訪問介護（特段の調理）指示書」と主治医と確認

「食事栄養ケアプラン」を管理栄養士が作成



※「特段の専門的配慮をもって行う調理」は身体介護に位置

※介護保険、全てのサービスに対応

（食事介助＋清拭、特段調理＋掃除等も対応可能）

特段の調理と訪問栄養指導

【特段の専門的配慮をもって行う調理手順書 (H 9)】

利用者名	様	サービス内容の詳細・手順
特別食	腎臓食 透析食 肝臓食 糖尿病 嚥下困難食 消化管術後による潰瘍食 腸管機能低下による低残渣食 低栄養改善食 貧血食 高脂血症食 痛風食 その他 ()	
一日の栄養量	(留意点) 体重が、65~70kgに増加 エネルギー (1400) kcal、タンパク質 () g、脂質 () g 水分 (cc)、カリウム () mg、リン制限 () mg 塩分制限 () g、その他 () (留意点) 朝食：300~350kcal (牛乳、パン程度、本人用意) 昼食：550~570kcal (おかず 380~400kcal、主食 170kcal) 夕食：550~570kcal (おかず 380~400kcal、主食 170kcal)	
禁止食品	糖質の多い食品、GI値が高い食品の使い過ぎには注意し、血糖コントロールに配慮する (留意点)	
主食	朝：パン 昼：ごはん(100g)又はめん タ：ごはん(100g) (留意点) 3合まとめて炊いて、10等分にして冷凍 (約 100g)	
副食形態	(常菜) ・ 軟菜 ・ きざみ ・ 極きざみ ・ ゼリー・ムース状 ・ とろみ付き その他 () (留意点)	
作業手順	1. 挨拶・入室 2. 買物 (週に2回) 3. 4~5食分 (昼食分、夕食分) の調理 4. 当日分の盛り付け、配膳 5. 翌日分以降はタッパーに入れ冷蔵・冷凍保存 6. メニュー表に記入 (料理名、保管場所、あたため等の指示) 7. 記録 8. 挨拶・退室	
その他留意事項	☐ 昼食分、夕食分の主菜・副菜の調理 ☐ 週3回 (火・木・土) で毎日の昼食・夕食分を調理する (調理分担表に基づく) ☐ 昼食・夕食分、550~570kcal (おかずで 380~400kcal) で調理する ☐ 翌日分以降のおかずは、タッパーに入れて冷蔵・冷凍保存する。料理名を書いたシールを貼る ☐ メニュー表に、「料理名」「保管場所」「温め、仕上げ方法」を記入する ☐ ヘルパー (他社) がメニュー表を見て、温め、仕上げ等を行い、盛りつけて、配膳する ☐ ごはんは3合を炊き、10等分 (約 100g) にして冷凍する ☐ 食材は、週2回 (土・火) にまとめて購入する。少量の買物はヘルパーに依頼してもよい ☐ 口定番で購入するもの：ヨーグルト、牛乳、くだもの、パン、納豆、豆腐 ☐ 目標：指示カロリーを守り、血糖コントロールを図ると共に、減量する	

総合検査報告書		総合検査報告書	
氏名	山田 太郎	氏名	山田 太郎
生年月日	1980/01/01	生年月日	1980/01/01
性別	男	性別	男
身長	170.0 cm	身長	170.0 cm
体重	65.0 kg	体重	65.0 kg
血圧	110/70 mmHg	血圧	110/70 mmHg
心拍数	70 bpm	心拍数	70 bpm
体温	36.5 °C	体温	36.5 °C
血糖値	100 mg/dL	血糖値	100 mg/dL
血中コレステロール	180 mg/dL	血中コレステロール	180 mg/dL
血中トリグリセリド	100 mg/dL	血中トリグリセリド	100 mg/dL
血中ヘモグロビン	15.0 g/dL	血中ヘモグロビン	15.0 g/dL
血中ヘマトクリット	45.0 %	血中ヘマトクリット	45.0 %
血中ヘモグロビンA1c	5.5 %	血中ヘモグロビンA1c	5.5 %
血中カルシウム	9.5 mg/dL	血中カルシウム	9.5 mg/dL
血中マグネシウム	0.8 mg/dL	血中マグネシウム	0.8 mg/dL
血中リン	3.5 mg/dL	血中リン	3.5 mg/dL
血中鉄	100 µg/dL	血中鉄	100 µg/dL
血中銅	1.0 µg/dL	血中銅	1.0 µg/dL
血中亜鉛	1.0 µg/dL	血中亜鉛	1.0 µg/dL
血中セレン	0.1 µg/dL	血中セレン	0.1 µg/dL
血中マンガン	0.1 µg/dL	血中マンガン	0.1 µg/dL
血中コバルト	0.1 µg/dL	血中コバルト	0.1 µg/dL
血中ニッケル	0.1 µg/dL	血中ニッケル	0.1 µg/dL
血中モリブデン	0.1 µg/dL	血中モリブデン	0.1 µg/dL
血中バナジウム	0.1 µg/dL	血中バナジウム	0.1 µg/dL
血中クロム	0.1 µg/dL	血中クロム	0.1 µg/dL
血中シリコン	0.1 µg/dL	血中シリコン	0.1 µg/dL
血中アルミニウム	0.1 µg/dL	血中アルミニウム	0.1 µg/dL
血中鉛	0.1 µg/dL	血中鉛	0.1 µg/dL
血中銅	0.1 µg/dL	血中銅	0.1 µg/dL
血中亜鉛	0.1 µg/dL	血中亜鉛	0.1 µg/dL
血中セレン	0.1 µg/dL	血中セレン	0.1 µg/dL
血中マンガン	0.1 µg/dL	血中マンガン	0.1 µg/dL
血中コバルト	0.1 µg/dL	血中コバルト	0.1 µg/dL
血中ニッケル	0.1 µg/dL	血中ニッケル	0.1 µg/dL
血中モリブデン	0.1 µg/dL	血中モリブデン	0.1 µg/dL
血中バナジウム	0.1 µg/dL	血中バナジウム	0.1 µg/dL
血中クロム	0.1 µg/dL	血中クロム	0.1 µg/dL
血中アルミニウム	0.1 µg/dL	血中アルミニウム	0.1 µg/dL
血中鉛	0.1 µg/dL	血中鉛	0.1 µg/dL
血中銅	0.1 µg/dL	血中銅	0.1 µg/dL
血中亜鉛	0.1 µg/dL	血中亜鉛	0.1 µg/dL
血中セレン	0.1 µg/dL	血中セレン	0.1 µg/dL
血中マンガン	0.1 µg/dL	血中マンガン	0.1 µg/dL
血中コバルト	0.1 µg/dL	血中コバルト	0.1 µg/dL
血中ニッケル	0.1 µg/dL	血中ニッケル	0.1 µg/dL
血中モリブデン	0.1 µg/dL	血中モリブデン	0.1 µg/dL
血中バナジウム	0.1 µg/dL	血中バナジウム	0.1 µg/dL
血中クロム	0.1 µg/dL	血中クロム	0.1 µg/dL
血中アルミニウム	0.1 µg/dL	血中アルミニウム	0.1 µg/dL
血中鉛	0.1 µg/dL	血中鉛	0.1 µg/dL
血中銅	0.1 µg/dL	血中銅	0.1 µg/dL
血中亜鉛	0.1 µg/dL	血中亜鉛	0.1 µg/dL
血中セレン	0.1 µg/dL	血中セレン	0.1 µg/dL
血中マンガン	0.1 µg/dL	血中マンガン	0.1 µg/dL
血中コバルト	0.1 µg/dL	血中コバルト	0.1 µg/dL
血中ニッケル	0.1 µg/dL	血中ニッケル	0.1 µg/dL
血中モリブデン	0.1 µg/dL	血中モリブデン	0.1 µg/dL
血中バナジウム	0.1 µg/dL	血中バナジウム	0.1 µg/dL
血中クロム	0.1 µg/dL	血中クロム	0.1 µg/dL
血中アルミニウム	0.1 µg/dL	血中アルミニウム	0.1 µg/dL
血中鉛	0.1 µg/dL	血中鉛	0.1 µg/dL
血中銅	0.1 µg/dL	血中銅	0.1 µg/dL
血中亜鉛	0.1 µg/dL	血中亜鉛	0.1 µg/dL
血中セレン	0.1 µg/dL	血中セレン	0.1 µg/dL
血中マンガン	0.1 µg/dL	血中マンガン	0.1 µg/dL
血中コバルト	0.1 µg/dL	血中コバルト	0.1 µg/dL
血中ニッケル	0.1 µg/dL	血中ニッケル	0.1 µg/dL
血中モリブデン	0.1 µg/dL	血中モリブデン	0.1 µg/dL
血中バナジウム	0.1 µg/dL	血中バナジウム	0.1 µg/dL
血中クロム	0.1 µg/dL	血中クロム	0.1 µg/dL
血中アルミニウム	0.1 µg/dL	血中アルミニウム	0.1 µg/dL
血中鉛	0.1 µg/dL	血中鉛	0.1 µg/dL
血中銅	0.1 µg/dL	血中銅	0.1 µg/dL
血中亜鉛	0.1 µg/dL	血中亜鉛	0.1 µg/dL
血中セレン	0.1 µg/dL	血中セレン	0.1 µg/dL
血中マンガン	0.1 µg/dL	血中マンガン	0.1 µg/dL
血中コバルト	0.1 µg/dL	血中コバルト	0.1 µg/dL
血中ニッケル	0.1 µg/dL	血中ニッケル	0.1 µg/dL
血中モリブデン	0.1 µg/dL	血中モリブデン	0.1 µg/dL
血中バナジウム	0.1 µg/dL	血中バナジウム	0.1 µg/dL
血中クロム	0.1 µg/dL	血中クロム	0.1 µg/dL
血中アルミニウム	0.1 µg/dL	血中アルミニウム	0.1 µg/dL
血中鉛	0.1 µg/dL	血中鉛	0.1 µg/dL
血中銅	0.1 µg/dL	血中銅	0.1 µg/dL
血中亜鉛	0.1 µg/dL	血中亜鉛	0.1 µg/dL
血中セレン	0.1 µg/dL	血中セレン	0.1 µg/dL
血中マンガン	0.1 µg/dL	血中マンガン	0.1 µg/dL
血中コバルト	0.1 µg/dL	血中コバルト	0.1 µg/dL
血中ニッケル	0.1 µg/dL	血中ニッケル	0.1 µg/dL
血中モリブデン	0.1 µg/dL	血中モリブデン	0.1 µg/dL
血中バナジウム	0.1 µg/dL	血中バナジウム	0.1 µg/dL
血中クロム	0.1 µg/dL	血中クロム	0.1 µg/dL
血中アルミニウム	0.1 µg/dL	血中アルミニウム	0.1 µg/dL
血中鉛	0.1 µg/dL	血中鉛	0.1 µg/dL
血中銅	0.1 µg/dL	血中銅	0.1 µg/dL
血中亜鉛	0.1 µg/dL	血中亜鉛	0.1 µg/dL
血中セレン	0.1 µg/dL	血中セレン	0.1 µg/dL
血中マンガン	0.1 µg/dL	血中マンガン	0.1 µg/dL
血中コバルト	0.1 µg/dL	血中コバルト	0.1 µg/dL
血中ニッケル	0.1 µg/dL	血中ニッケル	0.1 µg/dL
血中モリブデン	0.1 µg/dL	血中モリブデン	0.1 µg/dL
血中バナジウム	0.1 µg/dL	血中バナジウム	0.1 µg/dL
血中クロム	0.1 µg/dL	血中クロム	0.1 µg/dL
血中アルミニウム	0.1 µg/dL	血中アルミニウム	0.1 µg/dL
血中鉛	0.1 µg/dL	血中鉛	0.1 µg/dL
血中銅	0.1 µg/dL	血中銅	0.1 µg/dL
血中亜鉛	0.1 µg/dL	血中亜鉛	0.1 µg/dL
血中セレン	0.1 µg/dL	血中セレン	0.1 µg/dL
血中マンガン	0.1 µg/dL	血中マンガン	0.1 µg/dL
血中コバルト	0.1 µg/dL	血中コバルト	0.1 µg/dL
血中ニッケル	0.1 µg/dL	血中ニッケル	0.1 µg/dL
血中モリブデン	0.1 µg/dL	血中モリブデン	0.1 µg/dL
血中バナジウム	0.1 µg/dL	血中バナジウム	0.1 µg/dL
血中クロム	0.1 µg/dL	血中クロム	0.1 µg/dL
血中アルミニウム	0.1 µg/dL	血中アルミニウム	0.1 µg/dL
血中鉛	0.1 µg/dL	血中鉛	0.1 µg/dL
血中銅	0.1 µg/dL	血中銅	0.1 µg/dL
血中亜鉛	0.1 µg/dL	血中亜鉛	0.1 µg/dL
血中セレン	0.1 µg/dL	血中セレン	0.1 µg/dL
血中マンガン	0.1 µg/dL	血中マンガン	0.1 µg/dL
血中コバルト	0.1 µg/dL	血中コバルト	0.1 µg/dL
血中ニッケル	0.1 µg/dL	血中ニッケル	0.1 µg/dL
血中モリブデン	0.1 µg/dL	血中モリブデン	0.1 µg/dL
血中バナジウム	0.1 µg/dL	血中バナジウム	0.1 µg/dL
血中クロム	0.1 µg/dL	血中クロム	0.1 µg/dL
血中アルミニウム	0.1 µg/dL	血中アルミニウム	0.1 µg/dL
血中鉛	0.1 µg/dL	血中鉛	0.1 µg/dL
血中銅	0.1 µg/dL	血中銅	0.1 µg/dL
血中亜鉛	0.1 µg/dL	血中亜鉛	0.1 µg/dL
血中セレン	0.1 µg/dL	血中セレン	0.1 µg/dL
血中マンガン	0.1 µg/dL	血中マンガン	0.1 µg/dL
血中コバルト	0.1 µg/dL	血中コバルト	0.1 µg/dL
血中ニッケル	0.1 µg/dL	血中ニッケル	0.1 µg/dL
血中モリブデン	0.1 µg/dL	血中モリブデン	0.1 µg/dL
血中バナジウム	0.1 µg/dL	血中バナジウム	0.1 µg/dL
血中クロム	0.1 µg/dL	血中クロム	0.1 µg/dL
血中アルミニウム	0.1 µg/dL	血中アルミニウム	0.1 µg/dL
血中鉛	0.1 µg/dL	血中鉛	0.1 µg/dL
血中銅	0.1 µg/dL	血中銅	0.1 µg/dL
血中亜鉛	0.1 µg/dL	血中亜鉛	0.1 µg/dL
血中セレン	0.1 µg/dL	血中セレン	0.1 µg/dL
血中マンガン	0.1 µg/dL	血中マンガン	0.1 µg/dL
血中コバルト	0.1 µg/dL	血中コバルト	0.1 µg/dL
血中ニッケル	0.1 µg/dL	血中ニッケル	0.1 µg/dL
血中モリブデン	0.1 µg/dL	血中モリブデン	0.1 µg/dL
血中バナジウム	0.1 µg/dL	血中バナジウム	0.1 µg/dL
血中クロム	0.1 µg/dL	血中クロム	0.1 µg/dL
血中アルミニウム	0.1 µg/dL	血中アルミニウム	0.1 µg/dL
血中鉛	0.1 µg/dL	血中鉛	0.1 µg/dL
血中銅	0.1 µg/dL	血中銅	0.1 µg/dL
血中亜鉛	0.1 µg/dL	血中亜鉛	0.1 µg/dL
血中セレン	0.1 µg/dL	血中セレン	0.1 µg/dL
血中マンガン	0.1 µg/dL	血中マンガン	0.1 µg/dL
血中コバルト	0.1 µg/dL	血中コバルト	0.1 µg/dL
血中ニッケル	0.1 µg/dL	血中ニッケル	0.1 µg/dL
血中モリブデン	0.1 µg/dL	血中モリブデン	0.1 µg/dL
血中バナジウム	0.1 µg/dL	血中バナジウム	0.1 µg/dL
血中クロム	0.1 µg/dL	血中クロム	0.1 µg/dL
血中アルミニウム	0.1 µg/dL	血中アルミニウム	0.1 µg/dL
血中鉛	0.1 µg/dL	血中鉛	0.1 µg/dL
血中銅	0.1 µg/dL	血中銅	0.1 µg/dL
血中亜鉛	0.1 µg/dL	血中亜鉛	0.1 µg/dL
血中セレン	0.1 µg/dL	血中セレン	0.1 µg/dL
血中マンガン	0.1 µg/dL	血中マンガン	0.1 µg/dL
血中コバルト	0.1 µg/dL	血中コバルト	0.1 µg/dL
血中ニッケル	0.1 µg/dL	血中ニッケル	0.1 µg/dL
血中モリブデン	0.1 µg/dL	血中モリブデン	0.1 µg/dL
血中バナジウム	0.1 µg/dL	血中バナジウム	0.1 µg/dL
血中クロム	0.1 µg/dL	血中クロム	0.1 µg/dL
血中アルミニウム	0.1 µg/dL	血中アルミニウム	0.1 µg/dL
血中鉛	0.1 µg/dL	血中鉛	0.1 µg/dL
血中銅	0.1 µg/dL	血中銅	0.1 µg/dL
血中亜鉛	0.1 µg/dL	血中亜鉛	0.1 µg/dL
血中セレン	0.1 µg/dL	血中セレン	0.1 µg/dL
血中マンガン	0.1 µg/dL	血中マンガン	0.1 µg/dL
血中コバルト	0.1 µg/dL	血中コバルト	0.1 µg/dL
血中ニッケル	0.1 µg/dL	血中ニッケル	0.1 µg/dL
血中モリブデン	0.1 µg/dL	血中モリブデン	0.1 µg/dL
血中バナジウム	0.1 µg/dL	血中バナジウム	0.1 µg/dL
血中クロム	0.1 µg/dL	血中クロム	0.1 µg/dL
血中アルミニウム	0.1 µg/dL	血中アルミニウム	0.1 µg/dL
血中鉛	0.1 µg/dL	血中鉛	0.1 µg/dL
血中銅	0.1 µg/dL	血中銅	0.1 µg/dL
血中亜鉛	0.1 µg/dL	血中亜鉛	0.1 µg/dL
血中セレン	0.1 µg/dL	血中セレン	0.1 µg/dL
血中マンガン	0.1 µg/dL	血中マンガン	0.1 µg/dL
血中コバルト	0.1 µg/dL	血中コバルト	0.1 µg/dL
血中ニッケル	0.1 µg/dL	血中ニッケル	0.1 µg/dL
血中モリブデン	0.1 µg/dL	血中モリブデン	0.1 µg/dL
血中バナジウム	0.1 µg/dL	血中バナジウム	0.1 µg/dL
血中クロム	0.1 µg/dL	血中クロム	0.1 µg/dL
血中アルミニウム	0.1 µg/dL	血中アルミニウム	0.1 µg/dL
血中鉛	0.1 µg/dL	血中鉛	0.1 µg/dL
血中銅	0.1 µg/dL	血中銅	0.1 µg/dL
血中亜鉛	0.1 µg/dL	血中亜鉛	0.1 µg/dL
血中セレン	0.1 µg/dL	血中セレン	0.1 µg/dL
血中マンガン	0.1 µg/dL	血中マンガン	0.1 µg/dL
血中コバルト	0.1 µg/dL	血中コバルト	0.1 µg/dL
血中ニッケル	0.1 µg/dL	血中ニッケル	0.1 µg/dL
血中モリブデン	0.1 µg/dL	血中モリブデン	0.1 µg/dL
血中バナジウム	0.1 µg/dL	血中バナジウム	0.1 µg/dL
血中クロム	0.1 µg/dL	血中クロム	0.1 µg/dL
血中アルミニウム	0.1 µg/dL	血中アルミニウム	0.1 µg/dL
血中鉛	0.1 µg/dL	血中鉛	0.1 µg/dL
血中銅	0.1 µg/dL	血中銅	0.1 µg/dL
血中亜鉛	0.1 µg/dL	血中亜鉛	0.1 µg/dL
血中セレン	0.1 µg/dL	血中セレン	0.1 µg/dL
血			

症例；85歳女性、要介護度4の栄養アセスメント(PES)

- 食物・栄養関連履歴
全粥、食事摂取量75%以下
偏食顕著 食欲低下
甘い物(菓子類) 麺類が好物

- 身体測定
身長 150 cm 体重 35 kg
BMI 15.5
体重減少率19%(3か月)
 - 生化学データ
血清アルブミン 3.1 g/dL
認知症高齢者Ⅱa
 - 摂食嚥下障害(口腔内に食物を貯める)
- 疾病名；高血圧、認知症、褥瘡

栄養診断

- 1.P；問題・・・経口摂取量不足
- 2.E：原因・・・咀嚼障害
- 3.S：徴候・症状・・・3ヶ月に19%体重減少



塩分**0.9%**が快適な味

生理的に理にかなった味

主な料理の調味パーセント(%)

料理	糖分	塩分
青背魚の煮つけ	0~8	2
いり鶏	5~6	1.2~2
野菜の煮びたし	0	1
つくだ煮	0~8	5
豚肉しょうが焼き	0~3	1.5~2
炒め物	0.5~1	1~1.2
みそ汁	0	0.6~0.8
吸い物	0	0.6
即席漬け	0	2

人間の体液も**0.9%**！

同じ塩分なので、誰もが快く感じられる味、

～調理のお話し～

出汁はぐらぐら煮立てるとまずい？！

温度の目安

～ 65～75℃～

- 削り節を入れると鍋底に沈む
- 温度が少し低く、だしが出るのに時間がかかる。

～ 90℃以上～

- 削り節を入れると水面で踊るようにゆれる。
- 温度が高い。水を加えて温度を下げる。

- 75℃～80℃

- 削り節を入れると鍋底に沈まず、中央でゆらゆらして漂う。



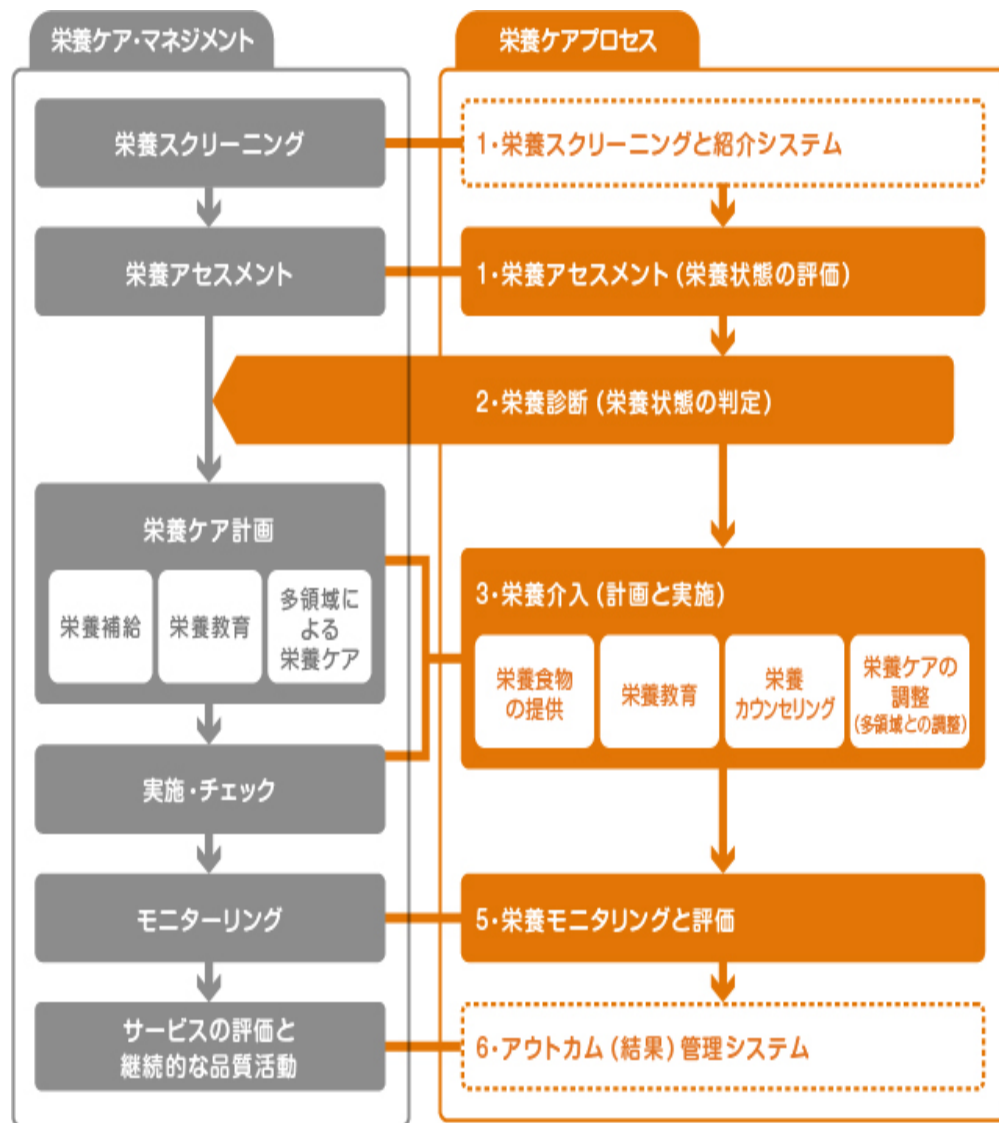
栄養管理は、国際的基準「栄養ケアプロセス:NCP)」に？

- ・ 栄養管理標準化（コード化）
- ・ 他職種で理解が容易。

アメリカ栄養士会の 栄養管理の手法。

- ① 栄養アセスメント
 - ② 栄養診断
 - ③ 栄養介入
 - ④ 栄養モニタリングと評価
- 4段階で構成

栄養診断の記載
「**PES報告書**」。
「Sの根拠、E原因、P栄養診断」。



管理栄養士の専門性と将来像とは？

- 管理栄養士



- 臨床分野認定管理栄養士。病態栄養管理栄養士



- 『がん』『CKD』『糖尿病』領域の
専門管理栄養士 （平成25年より）



- 『摂食嚥下リハビリテーション
栄養専門管理栄養士』がスタート

『摂食嚥下リハビリテーション栄養 専門 管理栄養士』の育成と期待

- 日本栄養士会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会と共同
- 卓越した専門的知識、指導・研究能力

- 受験資格

- 1 日本の管理栄養士免許
- 2 日本栄養士、日本摂食嚥下リハビリテーション学会
- 3 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士の取得

他に4つの条件

- 摂食嚥下機能に関する実績5症例
- 学術集会・地方会で筆頭発表
など

訪問栄養食事指導に求められるもの

- 摂食嚥下障害

疾患（低栄養を含む）のための特別食

- 医療知識
- 栄養調理



最後に～ まとめと提言



- 2016年、栄養食事指導が拡充。
- 食と栄養こそが健康と疾病予防の基本！
- チームアプローチは介護スタッフを支え合うこと
- 管理栄養士は、結果をだし、
看護師や介護スタッフとの情報交換が必要



新食研イズム・1 見つける、2 腕と腹
3. すべての人が得をする



- ご清聴ありがとうございました。